

【学校教育目標】

挑戦を楽しむ (Go for it !)

【研究主題】

「学びに向かう力」の育成  
～表現力を高める授業づくりを通して～

社会が大きく変化し、複雑で予測困難な時代になっている。このような中で学校教育には、子供たちが主体的に社会に関わり、多様な人々と力を合わせながら自らの可能性を発揮できるよう、他者と協働して課題を解決していく力や、知識や技能を組み合わせたり、情報を見極め再構成したりするなどして新しい価値を創造する力を育むことが求められている。また、子どもたちが社会に出た際に、問題の解決に向けて目標を明確にし、紆余曲折があっても粘り強く取り組むことができるようになるために、自ら学習を調整していく力を育むことが大切である。

昨年度本校では、「学びに向かう力」の育成のために、各教科において自己調整学習を基盤とした授業改善を行ってきた。生徒自身が自ら計画して学習を進め、他者と協働しながら問題を解決し、自分の学びにつなげていくことで得られる達成感が、自己肯定感や学ぶ意欲の向上につながっていると感じている。その一方で、自分の考えや感じ方を表現する力に依然課題があると考えられる。

以下は上下中学校アンケート（R6年3月実施）の結果である。

- 1) クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言している。
- 2) あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしている。
- 3) クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得するように考えて、提案している

主  
題  
設  
定  
の  
理  
由

1) クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言している



2) 学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしている



3) クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得するように考えて、提案している



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

これらの結果から、自分の考えに自信をもって相手に伝えようとする態度や、他者の意見に関心を持ち自分の意見と比較しながら互いの発言を結び付けて問題を解決しようとする態度に課題があると考えられる。以上のことから、研究主題を『「学びに向かう力」の育成』とし、副題を「表現力を高める授業づくりを通して」とし、研究を進めることとした。今年度は特に、以下の2点に重点的に取り組むこととする。

- 各教科における「表現力」の向上を図る授業改善
- 多様な人々との対話を通して問題を解決する機会の設定

各教科においては、「表現力」をつけた生徒の具体的な姿を明確にもち、表現力の向上に向けて授業の工夫・改善をしていく。また、総合的な学習の時間では、小中一貫の取組として小中連携して活動を進めていくとともに、地域の資源を活用した体験的な授業を展開し、生徒が学校での学びを社会での活動に生かしたり、多様な人との対話を通して自らの将来について考えたりできる場を設定する。学級活動や行事においては、異学年で考えを伝え合う活動を設ける。

研究の仮説	生徒が各教科で高めた表現力を生かして多様な人々と交流する機会を通して、生徒の考えが深まり広がれば、「学びに向かう力」が育まれ、これからの時代に求められる資質・能力を育み、主体的に活動できる生徒を育成することができるであろう。		
研究推進の方向性	○各教科において、自己調整学習を基盤とした課題発見・解決学習を進め、表現力の向上のための授業改善を図る。 ○総合的な学習の時間を中心に、小中で連携し学習を進める。また、学校外との連携も図り、多様な人との対話を通して、学びの充実を図る。		
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・教職員への意識調査結果を実施し、当初の調査結果と比較、成果を検証する。</li> <li>・授業での記述や作品、学習の振り返りから、生徒の変容をみとる。</li> <li>・各種学力調査の質問紙調査等から、その成果を検証する。</li> </ul>		
	学園・学校行事	内容	
研究推進の計画と内容	4	・第1回上下学園全体会	・小中一貫教育研修（各部会）
	5	・上下学園合同授業研修会 （17日 上下南） ・「特別支援教育」について研修	・小中一貫教育研究
	6	・校内授業研修（ことば探求科）	・校内授業研究
	7	・上下学園合同授業研修会 （5日 上下中3年 総合） ・校内授業研修（1年 英語） ・校内授業研修（数学） ・「特別支援教育」について研修	・小中一貫教育研究
	9	・小中一貫教育全国サミット （27・28日 上下中 ことば探究科／総合）	・小中一貫教育研究
	10	・校内授業研修（保健体育科）	・校内授業研究
	11	・校内授業研修（2年 国語）	・校内授業研究
	12	・校内授業研修（家庭科）	・校内授業研究
	1	・校内授業研修（音楽）	・校内授業研究
	2	・上下学園全体会 ・「特別支援教育」について研修	・1年間の研究のまとめ
3	・次年度研究推進計画策定		
備考	<p>◆校内研究授業のすすめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中一貫教育全国サミット」に向けて、総合的な学習の時間を中心にカリキュラムマネジメントによる学びの充実を図る。また、ことば探究科では、自分の考えを論理的に表現できる力の育成を図る。</li> <li>・各教科において「自己調整学習」を基盤とした授業を展開する。</li> <li>・指導案づくり→指導案検討→模擬授業→授業研修→事後研修の5段階で研修を推進し、授業づくりについて共通して深める</li> </ul>		